

2025年8月

- ・今回のリリースでの新機能 (1ページ)
- このリリースでの変更点 (2ページ)
- 問題 (2ページ)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces: スペースの使用状況アプリケーション の Cisco Spaces ベータ版 UI で次の新機能 が導入されました。

ヒートマップ

スペースの使用状況アプリケーションに**ヒートマップ**が導入され、過去の使用状況の傾向と物理的スペースの使用率を可視化する新しい方法が提供されました。ヒートマップは 3D デジタルマップの上に直接表示され、占有密度と使用パターンを没入型の方法で空間的に理解できます。

主なポイント

- ・ヒートマップの可視化:フロアレベルでの過去の占有密度を色分けして視覚的に表現し、3D デジタルマップ上に表示して、時間の経過とともにフロアのどの領域が最も利用されたか、または最も利用されていないかを把握できるようにします。
- **多次元分析**:各日、各曜日、または1日における各時間帯のヒートマップを表示して、傾向を把握し、さまざまな期間における占有パターンと使用傾向を分析します。

次の利点があります。

- 過去の使用率の低いゾーンと使用者の多いゾーンを特定します。
- •情報に基づきスペースの再配置または再設計を決定できます。
- 3D デジタルマップを使用した直感的なマップベースの表示により、従来のグラフ表示を 補完します。
- 空間的インサイトを得てワークスペースの配置を最適化し、訪問者の体験を向上させます。

インタラクティブマップ

スペースの使用状況アプリケーションに**インタラクティブマップ**機能が提供され、キャンパス、建物、フロアなどの場所をグローバルマップ上にすばやく直感的に地理的表示できるようになりました。この機能では、ダイナミックマーカーと色分けされたクラスターを使用して、占有率と使用率のメトリックが表示されます。これにより、迅速なインサイトを複数のレベルで得ることができます。

主なポイント

- ・ダイナミッククラスタリングにより、グローバル、キャンパス、建物、およびフロアレベルの視点をシームレスに切り替えられます。
- 人数、滞在時間、使用率などの主要なメトリックを色分けされたマーカーで表示します。
- スマートマップコントロール、ズーム、および情報パネルによりスペースを迅速に見つけられます。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces のベータ版 UI では、この機能強化が加えられています。

ネットワークマップのキャリブレーション

ネットワークマップのキャリブレーションツールを使用すると、2D ネットワークマップ画像と3D デジタルマップを正確に配置できます。[Digital Map Editor] からツールにアクセスして、クライアントとアクセスポイントの位置が正確に表示されるように、GPSマーカーを正確に配置できます。

ネットワークマップキャリブレーションリンクは、ネットワークマップに関連付けられているマップに対してのみユーザーインターフェイスで有効になります。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 1: Cisco Spaces の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwq31931	Cisco Spaces のアクティブなクライアントを確認できないため、WLC が Cisco Spaces にクライアント情報パケットを送信しない

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 2: Cisco Spaces の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwq79186	サイネージクライアント:サイネージ設定で[Where Am I] 機能を無効にしても、サイネージの[Select a Floor] ポップアップに表示される。
CSCwq12122	Spaces Manager の使用状況レポートで、使用状況に変更がない場合に不正確な出力が表示される。
CSCwq60867	製造元がシスコのデバイスが、場所データの処理中に破棄されている。

解決済みの問題

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。